

施設予約利用の試行結果と今後の運用について

1 試行結果

令和4年9月1日から令和5年3月31日まで施設貸出を試行した。連携会議（96団体）などの利用を見込んだが、利用実績は8件に留まった。

2 今後の運用にあたっての課題

- (1)利用・登録時の手続きが煩雑である。
- (2)利用要件の記載から、環境を切り口に広く利用できることがわからない。
- (3)施設予約利用について十分周知されていない。

3 課題点を踏まえた見直し項目

(1)手続きの簡略化

- ・初回利用手続きに、登録手続きを兼ねる。
- ・市在住・在勤確認の身分証写し提出を廃止する。 ほか

(2)利用要件の記載の改善

- ・「環境啓発等、環境に関連する活動（施設見学や環境問題の紹介等を組合せた催し・講座等にも利用できます。）」とする。
- ・「18歳以上」としていた年齢制限を廃止する。
- ・1か月あたりの利用上限を「3日」から「5日」とする。
- ・変更・取消を電話、メールで可能とする。
- ・カフェスペース及びコミュニティラウンジで食事可能とする。ほか

(3)周知及びインセンティブの設定

- ・施設予約利用について、HP、SNS、「エコの実通信」等に掲載する。併せて各事業に参加する市民団体等へ個別に周知していく。
- ・「催し物の周知の協力」として、希望に応じて、施設予約利用した催し物の事前告知等（リンク）を、エコレポートのSNSに掲載する。

(4)その他

- ・注意事項として、「利用に際して問題が生じた場合には、次回利用の際に対策を講じていただく必要があります。」と記載する。
- ・柔軟に運用し「この手引きは、利用状況に応じて随時見直しを行います。予約利用申込みの際は、最新版をご確認ください。」と記載する。

4 連携会議への意見聴取（概要）

※連携会議とは、環境に関わる市民団体、市民、企業等により、課題等を共有し、市民参加型の運営を推進するための組織です。

- ・施設予約利用及び登録の手続き簡素化を進めるべき。
- ・コロナ禍で使われていなかったカフェスペースを利用開始すべき。
- ・施設の認知度や来館を促進する必要がある。以前にはムーブスのルートに入れられないかとの議論もあった。

5 今後のスケジュール

令和5年7月中旬から変更予定